



ANRI 5 号投資事業有限責任組合への LP 投資について

- ・ Society5.0に向けた新規事業の創造の推進
- ・ ユニコーン企業の創出に向けたプレシード／シード期のスタートアップ支援
- ・ ジェンダーフリー社会の実現への貢献

株式会社産業革新投資機構（本社：東京都港区、代表取締役社長：横尾敬介、以下「JIC」）は、ANRI 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：佐俣安理）が、運営する ANRI 5 号投資事業有限責任組合（以下、「ANRI 5 号」）に対し、LP 投資を行うことを決定しましたのでお知らせします。

JIC はオープンイノベーションによる企業の成長と競争力強化に対する資金供給を通じて民間投資を促進するとともに、投資人材の育成等を行い、我が国の次世代産業を支えるリスクマネーの好循環の創出をミッションとしています。

JIC はミッション達成のため、民間ファンドへの LP 投資や傘下のファンドによる投資を通じて政策的に意義のある事業分野への投資を行います。

ANRI 5 号に対する LP 投資について

JIC は投資戦略に基づき民間ファンドへの LP 投資を行っており、今回、ANRI 5 号に対し 50 億円の出資を約束する LP 投資契約を締結しました。

（１） 投資の背景

JIC の投資基準*においては、重点投資分野として「Society5.0 に向けた新規事業の創造の推進」や「ユニコーン企業の創出」が挙げられています。

*<https://www.j-ic.co.jp/jp/investment/criteria/>

「Society5.0 に向けた新規事業の創造の推進」に関して、具体的には「AI、IoT、ロボットなど第四次産業革命に関する技術の社会実装のほか、バイオ・創薬・ヘルスケア、モビリティ、宇宙、素材、電子デバイスなどの国際競争力を持ちうる事業分野への長期かつ大規模なリスクマネーの供給が必要とされています。Society5.0 に向けた非連続なイノベーションの創出に向けては、AI やブロックチェーンなどのデジタル技術を活用し、サイバー空間とフィジカル空間の融合を促進するビジネスや、ディープテック分野に取り組むスタートアップへの支援が重要です。特に、研究開発型のスタートアップの支援においては、経営者の紹介を含めた創業支援が重要となっています。

また、「ユニコーン企業の創出」に関しては、我が国の市場において、プレシード／シード期のスタートアップに対するリスクマネーの供給が限定的である中で、ユニコーン企業の創出を加速させるためには、長期かつ大規模なリスクマネーの供給を行い、新規事業の創出

に挑戦する起業家を積極的に支援し、将来的にユニコーン企業に成長する可能性がある有望なスタートアップの数を増やしていくことが重要となっています。

加えて、我が国においては女性起業家の数が相対的に少ないなど、ダイバーシティの確保についてもスタートアップ・エコシステムの課題の一つとなっています。

（２） ANRI 5号について

ANRI 5号は、ANRI 株式会社（以下、ANRI）を運用者として設立されたベンチャーキャピタル（VC）です。ANRI は、インターネット領域及びディープテック領域の双方を対象に幅広く投資を行うことができる国内では数少ないシード VC で、これまでも、様々なディープテック領域のスタートアップへの投資実績があります。

今回、組成される ANRI5 号においても、投資額の相当程度をディープテック領域に振り向ける計画であり、AI やブロックチェーンなどのデジタル技術を活用することで、サイバー空間とフィジカル空間の融合を促進するビジネスに取り組むスタートアップへの投資が期待されます。

また、ANRI は、これまでの投資先の約 9 割において、そのプレシード／シード期における初回投資を行っており、ANRI 5号においても同様に、この段階における投資に注力していく方針です。

また、ANRI は国内 VC の中でも早くからダイバーシティの視点を取り入れており、4 号ファンド運営開始以降、女性キャピタリストの積極採用や女性起業家発ビジネスへの積極的な投資を行っており、ANRI5 号においても、その方針を継続していきます。

JIC は、今回の ANRI5 号への LP 投資を通じて、Society5.0 の実現に向けたディープテック領域及びインターネット領域のスタートアップに対するリスクマネーが供給され、これらの領域で新規事業・新産業の創出に貢献することを期待しています。また、プレシード／シード期のスタートアップに対する投資活動が強化され、我が国のスタートアップ・エコシステムの下支えになることや、ジェンダーフリー社会の実現への貢献となることを期待しています。

<ANRI 5号>

名称 : ANRI 5号投資事業有限責任組合
設立 : 2022 年 5 月
存続期間 : 10 年間
GP : ANRI 5号有限責任事業組合

<運用会社概要>

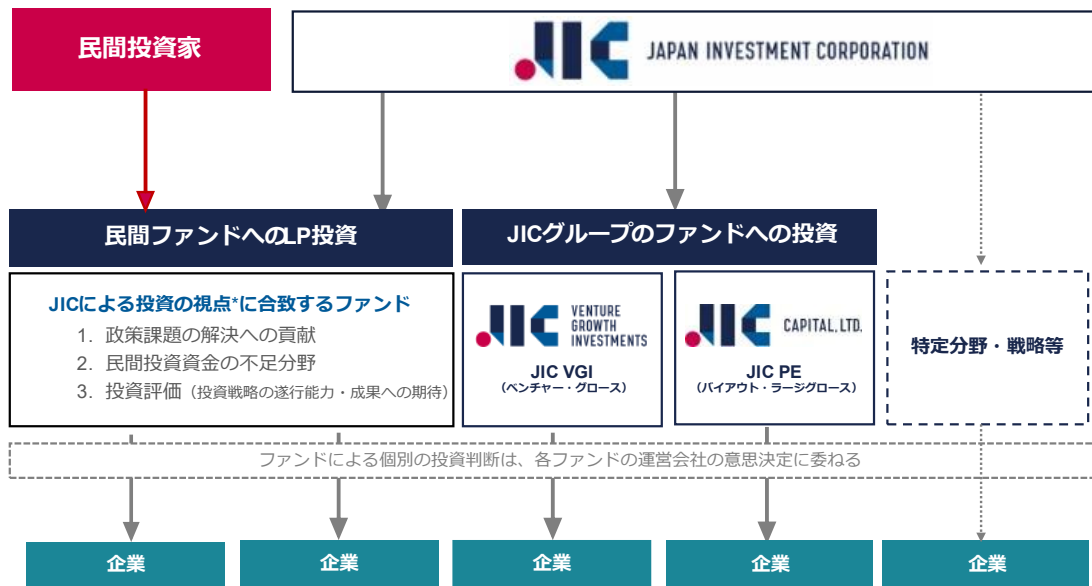
名称 : ANRI 株式会社
設立 : 2012 年
所在地 : 東京都渋谷区
代表取締役 : 佐俣安理

(参考) JIC のファンド投資戦略

JICの投資戦略



- ・ JICは、経営理念に基づき、民業補完の原則の下、ファンドへの投資を通じて、オープンイノベーションによる企業の成長と競争力の強化に向けたリスクマネー供給を行います。



*上記視点に加えて、募集状況、ファンド（運用者）の成長段階JICの役割・ポートフォリオ等の観点を総合的に勘案する。

(C) JIC. All Rights Reserved.

(参考) JIC の LP 投資のねらい

(1) 企業の成長と競争力強化に向けたリスクマネー供給の「呼び水」

産業競争力強化の観点から重要であるものの、民間投資資金が不足している分野（投資戦略、セクター、ステージ、地域等）への資金供給を行い、短期及び中長期的な民間投資資金の「呼び水」となることを企図します。

(2) リスクマネーの好循環を支える多様な投資チーム・投資人材・投資戦略の創出

①投資チーム

JIC からの投資を通じて、ファンドの運用チーム（運用会社）の経験値とトラックレコードを積み上げ、投資家への対応力を上げることで、次号ファンド以降機関投資家（年金・海外投資家等）からのリスクマネー仲介の担い手としての成長を促進します。

②投資人材

JVCA（一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会）等の業界団体、機関投資家、投資先運用者の協力を得ながら、運用者におけるベストプラクティスの研究・導入、投資人材の育成を支援します。

③投資戦略

日本に定着している戦略以外の戦略でも、ファンド設立等に対し JIC が LP 投資することで市場に多様性と厚みを付加します。

株式会社産業革新投資機構（JIC）について

JIC は 2018 年 9 月、産業競争力強化法に基づき発足した投資会社です。JIC は、Society5.0 に向けた新規事業の創造の推進、ユニコーンベンチャーの創出、地方に眠る将来性ある技術の活用、産業や組織の枠を超えた事業再編の促進、を重点投資分野としています。これらの分野に対し、傘下のファンドや民間ファンドへの LP 投資を通じてリスクマネーを供給することで、我が国におけるオープンイノベーションを推進し、我が国産業の競争力強化や投資エコシステムの拡大に貢献することを目指しています。

<本発表資料に関するお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 入江、奥村、野々宮（報道関係）

東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

電 話：03-5532-7086（広報直通） URL：<https://www.j-ic.co.jp/jp/>